【学外用資料】

北陸大学
Vision50（by2025）

学校法人北陸大学

長期ビジョン（50 周年ビジョン）・第 2 期中期計画

北陸大学
HOKURIKU UNIVERSITY

目　次

長期ビジョン・中期計画の策定にあたって …… 1

長期ビジョン・中期計画・事業計画 …… 2

長期ビジョン・第 2 期中期計画概念図…… 4

学校法人北陸大学　長期ビジョン・第2期中期計画　重点項目概要…… 5

法人・大学の理念・目的 …… 8

長期ビジョン・中期計画策定体制 …… 9

長期ビジョン・中期計画の策定にあたって

長期ビジョン「2025 年までに学生の成長力 No.1 の教育を実践する大学になる。」

18 歳人口の減少、社会環境の変化、新型コロナウイルスの流行など、大学を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。このような予測困難な時代だからこそ、長期、中期的にどのような方向をめざしていくのか、教職員全員で共有することが大事であると考えています。

また、2020 年 4 月に私立学校法が改正され、中期的な計画の作成が義務付けられました。教育の質の向上は学校法人の責務であり、教学と経営の一体的な発展をめざす計画の立案が求められています。

この度、2025 年に向け設定した長期ビジョンを達成するために、第1期中期計画との連続性・継続性を考慮したうえで、新たに第2期中期計画を策定しました。

当然でありますが、中期計画は作成することが目的ではありません。大学の将来に向けた活動に活用するものです。中期計画は全構成員が同じ方向に向いて進むための羅針盤です。

長期ビジョン・中期計画の実現には、大学の構成員一人ひとりが何をしなければならないのか、自らの役割や課題を見つけ出し実行に移していかなければなりません。しかし、それぞれの立場で正しいと判断したことが、全体として正しいという状況にならなければそれは単なる部分最適の状態であり、組織として非効率で非生産的な状態を生み出すこととなります。長期ビジョン・中期計画を設定することにより、大学が進むべき方向性が〝自分ごと化”され、結果として日々の思考や行動の中での判断基準が明確になり、組織は全体として最適化される。そして、大学全体のベクトルは一つになっていくと思います。

第 1 期中期計画の達成度をさらに深化させるべく、「チーム北陸大学」をキーワードに掲げ、全構成員が常に全体最適の視点を持ち、第 2 期中期計画へ踏み出します。

北陸大学は 2025 年までに学生の成長力№1の教育の実践と北陸地域の基幹大学になると宣言しています。この大きな目標に向かって、皆様と共に変革に挑んでまいります。

理事長・学長　小倉　勤

長期ビジョン・中期計画・事業計画

■長期ビジョン（50 周年ビジョン）＝「北陸大学 Vision 50（by 2025）」

2025 年までに学生の成長力№1の教育を実践する大学となる。

北陸大学は、学生の能動的な学修を促す先進的かつ多様な教育を組織的に実践することにより、主体的に考え行動でき、社会で必要な問題解決能力を持つ「自らの未来を切り拓く力」を備えた人材を育成する大学となる。

そして、健康社会を実現するために、医療人としての専門職業人、世界基準で行動できる国際人、健全な多文化共生社会実現に貢献できる人材、地域をマネジメントするリーダーを輩出することにより地域社会の更なる発展・貢献を果たす。

そのために、教職員が学生と共に成長する意識を持ち、常に教育改革と大学の安定的な運営に全力で取り組むことを約束し、北陸地域の基幹大学となる。

■長期ビジョン「北陸大学 Vision 50（by 2025）」

北陸大学創立 50 周年（2025 年）に向けた将来構想。長期ビジョンとは長期的時間軸のもとに、大学の「将来あるべき姿」を明らかにしたもの

■中期計画

「長期ビジョン」を具現化するための中期実行計画

■事業計画

中期計画に基づき単年度の事業計画を作成。各事業項目を総合的に検討し、重点的かつ計画的に実施するとともに、進捗状況、効果を的確に把握し事業を推進する

■全体スケジュール概要

第1期中期計画（4年）				第2期中期計画（5年）				
1	2	3	4	1	2	3	4	5
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025

※中期計画は定期的に進捗状況をチェックするとともに、適宜見直し等を実施する。

■中期計画　重要目標達成指標：KGI(Key Goal Indicator)※

長期ビジョン実現に向け、全学的に取り組む重要目標達成指標（KGI）として、5つの項目を設定し、この目標数字の達成が本学の教育成果とすることを全構成員が共有し、達成に向け具体的に行動していく。

■中期計画　重要業績評価指標：KPI(Key Performance Indicators)※

5つの重要目標達成指標を達成するために、7つを重点項目を設定し、個々に定量的もしくは定性的な目標（重要業績評価指標：KPI（Key Performance Indicators）※）を設定する。

※重要目標達成指標（KGI）・重要業績評価指標（KPI）

各組織レベルで最終的な「目標」を定め、その目標を具体的に実現するための「手段」を策定し、その手段がきちんと遂行されているかどうかを定量的に測定する「指標」を決めることが必要となる。KGI（重要目標達成指標）は、目標（ゴール）に対する達成度合いを定量的に表すものであり、KPI（重要業績評価指標）は目標達成プロセスの実施状況を計測するために、実行の度合い（パフォーマンス）を定量的に示す。KGI 達成に向かってプロセスが適切に実施されているかどうかを中間的に計測するのが、KPI だといえる。そのため、まずは KGI を明確化したうえで、プロセスごとの中間指標（KPI）を設定することが重要である。

学校法人北陸大学　長期ビジョン・第２期中期計画　概念図

Ⅰ 長期ビジョン（50周年ビジョン）

2025年までに学生の成長力№１の教育を実践する大学となる。 【北陸大学Vision50（by2025）】

北陸大学は、学生の能動的な学修を促す先進的かつ多様な教育を組織的に実践することにより、主体的に考え行動でき、社会で必要な問題解決能力を持つ「自らの未来を切り拓く力」を備えた人材を育成する大学となる。

そして、健康社会を実現するために、医療人としての専門職業人、世界基準で行動できる国際人、健全な多文化共生社会実現に貢献できる人材、地域をマネジメントするリーダーを輩出することにより地域社会の更なる発展・貢献を果たす。

そのために、教職員が学生と共に成長する意識を持ち、常に教育改革と大学の安定的な運営に全力で取り組むことを約束し、北陸地域の基幹大学となる。

Ⅱ 3つの戦略

■学生の成長を実現する特色ある教育・研究の実践
■変化への対応と新たな魅力の創出による組織改革
■持続的成長を実現する経営基盤の強化

Ⅲ 重要目標達成指標

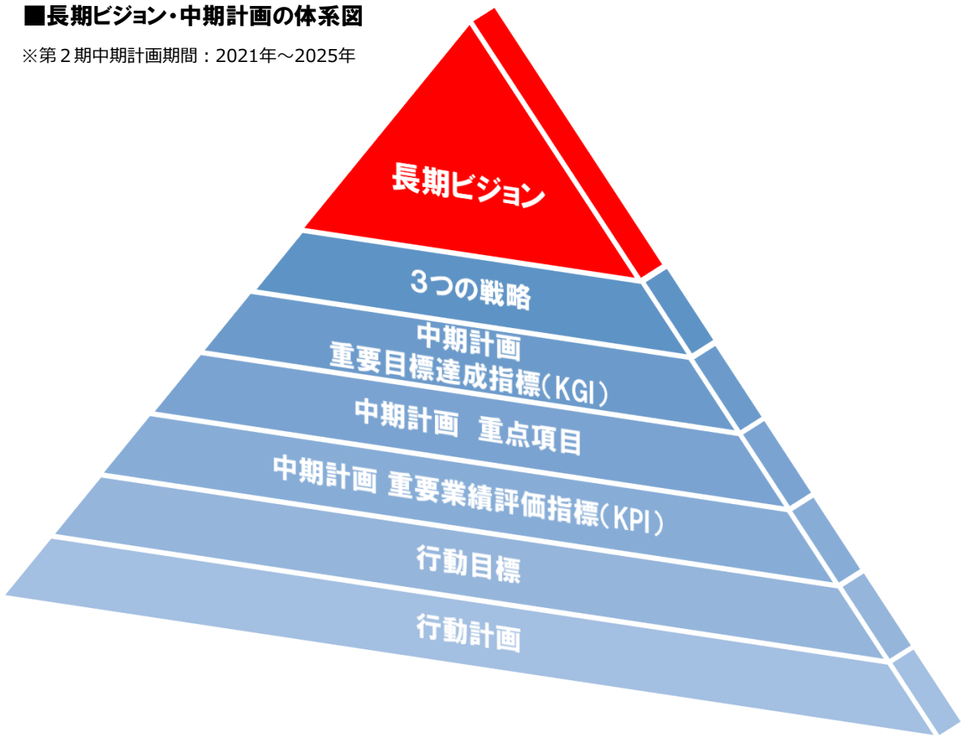
長期ビジョン実現に向け、全学的に取り組む５つの重要目標達成指標（KGI）を設定する。

Ⅳ 重点項目

KGIを達成するために7つの重点項目と、個々に定量的もしくは定性的な目標（重要業績評価指標：KPI）を設定する。

■長期ビジョン・中期計画の体系図

※第２期中期計画期間：2021年～2025年



1	教育改革	基本方針	学修者本位の教育への質的転換を目指し、教学マネジメント体制並びに内部質保証システムの更なる充実を図る。また、多様な教育体制の構築と地域社会との連携に取り組む。	行動目標	(1)学修者本位の教育の実現及び質保証体制の構築 (2)多様な教育体制と社会との連携
2	学生支援	基本方針	多様な背景を持った学生一人一人が、充実した学生生活を送ることができるよう支援を行うとともに、自らの未来を切り拓く力を備え社会で活躍できる人材を育成するための環境整備を行う。	行動目標	(1)多様な学生の成長を促すサポート体制の整備 (2)キャリア支援の強化
3	研究活動	基本方針	健康社会の実現のため、総合大学としての多様性を活かし、特色ある研究や地域の課題解決など社会ニーズに応える研究を推進する。研究の高度化を図り、質の高い研究成果を教育に還元し、社会実装に取り組み、地域社会の発展に寄与する。	行動目標	(1)研究基盤の充実 (2)社会に貢献できる研究の推進
4	国際化	基本方針	「Global Eyes －金沢に学び世界にかける－」の教育スローガンの下、基礎学力、豊かな教養、優れた語学力、的確な判断力を持ち、地域並びに世界の発展に貢献できるグローバル人材を養成する。	行動目標	(1)学生と教職員が共に国際的な価値観を身につけるための環境整備
5	社会連携・ネットワーク強化	基本方針	医療、国際、経済経営の分野で質の高い特色ある教育・研究を行い、その成果を社会に還元し、地域と産業の活性化に寄与するとともに、地域社会に貢献できる人材育成を目指し社会連携活動の強化に取り組む。また、保護者に対する情報提供、要望・相談の受入れ体制、同窓会との連携及び卒業生に対する情報提供・支援の充実を図り、ステークホルダーとのネットワーク強化を推進する。	行動目標	(1)社会連携活動の強化 (2)保護者・卒業生（同窓生）及び企業等との連携 (3)生涯教育・社会人教育の推進
6	入学者確保・広報・ブランディング	基本方針	デジタルメディア等を活用した広報を促進し、受験者及び保護者等との接触機会を増やすことで志願者の増加、入学者の確保を図る。併せて大学ブランドの構築を図る。	行動目標	(1)学生募集活動の強化 (2)大学ブランディング強化
7	経営基盤強化	基本方針	持続的成長を実現する経営基盤強化のため、社会及び外部環境の厳しい時代の変化に対応して健全で安定した財務基盤を構築維持するとともに、将来構想の推進をサポートできる財務体制を構築する。第2期中期計画実現のため、財務、組織、人事、ガバナンス等の経営基盤の強化を進める。	行動目標	(1)財務基盤強化 (2)組織・人事・制度の全体最適化 (3)キャンパス等の活用整備

学校法人北陸大学　長期ビジョン・第2期中期計画　重点項目概要

重要目標達成指標(KGI)	①長期ビジョン達成度、②収容定員達成率、③DP達成度自己評価、④授業満足度、⑤経常収支差額比率		
重点項目	**重要業績評価指標(KPI)**	**行動目標**	**行動計画**
1. 教育改革	【全学】 ①アクティブラーニング型科目の開講率 ②授業外学修時間数 ③DP到達度自己評価(最終年次) ④授業満足度 ⑤退学率 【薬学部】 ⑥薬剤師国家試験合格率(新卒) ⑦1年次留年率 ⑧1年次退学率: 【医療保健学部】 ⑨臨床検査技師国家試験合格率(新卒) ⑩臨床工学技士国家試験合格率(新卒) ⑪ダブルライセンス(検査・工学)合格率(新卒) ⑫1年次留年率 ⑬1年次退学率 【経済経営学部】 ⑭公務員採用試験合格者(新卒) ⑮簿記会計・情報(IT)等の教育課程(自由科目を除く)と連動する資格の延べ取得者率 ⑯地域と連動した教室外学修プログラム数 ⑰1年次退学率 【国際コミュニケーション学部】 ⑱TOEIC750点以上取得者率 ⑲HSK5級(210点)以上取得者 ⑳海外研修・留学経験率(卒業時・編入学生を除く国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科生) ㉑公認心理師資格要件取得者 ㉒1年次退学率 【経済経営学部・国際コミュニケーション学部】 ㉓教員免許取得者数 ㉔教員採用試験合格者数(新卒) ㉕2+2編入留学生大学院進学率 ㉖編入留学生を除く大学院進学者数	(1)学修者本位の教育の実現及び質保証体制の構築	①教育の内部質保証体制の構築及び運用 ②成績評価に関する全学的な基準の策定と運用 ③全科目の能動的学修の導入と深化・充実並びに授業設計の構築 ④ICTを活用した教育の促進 ⑤教育サポートスタッフ(SA等)の活用と資質の向上 ⑥カリキュラムの適正化による教育の質の向上 ⑦学修成果の調査・測定による可視化の実施 ⑧教学IR体制の確立 ⑨FD・SDの組織的かつ体系的な実施と専門人材の育成・確保
		(2)多様な教育体制と社会との連携	⑩分野・学部等横断型カリキュラムの検討と実施 ⑪主専攻・副専攻制度の導入 ⑫教育活動の充実を図る学事暦及び授業時間割等の再構築 ⑬地域社会・海外等における教室外学修プログラムの充実 ⑭全学的なAI・データサイエンス教育の展開
2. 学生支援	①学生実態・満足度調査による満足度 ②就職率 ③公認クラブ・サークル数の増加 ④クラブ・サークル加入率 ⑤SA・学内ワークスタディ・ピアサポート等の参加率 ⑥強化クラブの成果目標 ⑦国内インターンシップ(2週間未満)参加率 【経済経営学部・国際コミュニケーション学部】 ⑧国内インターンシップ(2週間以上)参加率 【経済経営学部・国際コミュニケーション学部】 ⑨学内企業セミナー参加企業数 ⑩図書館入館者数(学生のみ) ⑪図書貸出利用数(学生のみ) ⑫学生が立ち上げたプロジェクト数	(1)多様な学生の成長を促すサポート体制の整備	①多様な学生(障害、性、留学生)に対する支援体制の強化 ②学生の主体的な学びを入学から卒業まで支援する環境整備 ③図書館の利用促進 ④強化指定クラブの支援・見直し・環境整備 ⑤公認クラブ・サークル数及び加入者数増加に向けた環境整備 ⑥課外活動における多様な経験を促進するための学友会・学園祭実行委員会組織等の強化及び活動の充実 ⑦学部・学科を超えて学生や教職員が活動に参加できるプロジェクト(Ｉ+(アイ・プラス)プロジェクト(仮称))の導入・実施
		(2)キャリア支援の強化	⑧インターンシップ制度の充実 ⑨資格取得支援体制の強化 ⑩企業訪問、学内企業セミナーなどによる企業との接点強化 ⑪外国人留学生のキャリア教育プログラムの推進 ⑫卒業後アンケート(卒業生・企業等)の活用

学校法人北陸大学　長期ビジョン・第2期中期計画　重点項目概要

重要目標達成指標(KGI)	①長期ビジョン達成度、②収容定員達成率、③DP達成度自己評価、④授業満足度、⑤経常収支差額比率		
重点項目	**重要業績評価指標(KPI)**	**行動目標**	**行動計画**
3. 研究活動	①競争的資金(科研費等)の申請率(代表・分担) ②科研費の新規採択率(代表) ③外部研究資金の獲得金額 ④受託研究・共同研究取組件数 ⑤論文、紀要への投稿、著書の発行、書籍の執筆、学会(国内外)等での発表件数 ⑥特許出願件数 ⑦国外学術誌への論文投稿数 ⑧査読付論文の実績のある教員の割合 ⑨分野横断型共同研究	(1)研究基盤の充実	①競争的資金(科研費)の採択率向上に向けた学内制度及び研修制度等の充実 ②外部資金の募集情報提供、申請、執行、報告等の支援体制の充実 ③学内研究助成制度・研究設備の充実 ④研究活動活性化に向けた個人研究費制度の再構築 ⑤学外(海外を含む)研究制度の再構築 ⑥高度研究支援・マネジメント人材の育成
		(2)社会に貢献できる研究の推進	⑦研究成果の可視化促進 ⑧学会等学外活動の促進 ⑨分野横断型共同研究実施に向けた体制整備
4. 国際化	①海外提携校拡充 ②海外研修・留学参加率 ③全学生に占める外国人留学生率 ④短期海外研修プログラム受入者数 ⑤外国人教員の増加 ⑥海外インターンシップ参加者数	(1)学生と教職員が共に国際的な価値観を身につけるための環境整備	①国際交流センターと各学部の緊密な連携による研修・留学プログラムの充実 ②海外留学・研修派遣先及び留学生受入促進に向けた海外提携校の国・地域の多様化及び拡大 ③海外インターンシップの参加を促す仕組みの充実 ④留学生受入促進に向けた教育環境及び生活環境の充実 ⑤外国人教員の積極的な採用
5. 社会連携・ネットワーク強化	①包括連携協定先との連携活動件数 ②産・官・学・民連携事業参加学生数 ③保護者懇談会参加率 ④保護者満足度 ⑤公開講座開講数 ⑥公開講座受講者数	(1)社会連携活動の強化	①産学官・地域連携機能の強化 ②連携自治体及び関係団体との連携強化及び研修会等の実施 ③学内・学外ボランティア活動の推進 ④地域課題に取り組む学生及び教員へのサポート体制整備 ⑤プラットフォーム連携事業の具体的な取り組みの実施と継続
		(2)保護者・卒業生(同窓生)及び企業等との連携	⑥保護者に対する情報提供の充実 ⑦卒業生との協働作業による学生支援の実施 ⑧大学からの情報発信の充実及び卒業生と在学生の交流機会の促進 ⑨卒業生からの評価と卒業生に対する評価の実施及び分析・結果の公表
		(3)生涯教育・社会人教育の推進	⑩公開講座の拡充 ⑪社会人のキャリア形成のためのプログラム提供 ⑫地域就業者向けプログラムの充実

学校法人北陸大学　長期ビジョン・第2期中期計画　重点項目概要

重要目標達成指標(KGI)	①長期ビジョン達成度、②収容定員達成率、③DP達成度自己評価、④授業満足度、⑤経常収支差額比率		
重点項目	**重要業績評価指標(KPI)**	**行動目標**	**行動計画**
6. 入学者確保・広報・ブランディング	①入学定員充足率 ②本学保有リスト数 ③オープンキャンパス参加者数の増加 ④入学志願者倍率 ⑤富山県・福井県志願者数の増加 ⑥女子生徒志願者の増加 ⑦大学Webサイトアクセス件数 ⑧プレスリリースによるメディア掲載件数 ⑨高大連携活動件数 ⑩大学偏差値の向上	(1)学生募集活動の強化	①保有リストの増加 ②各階層(高校生、保護者、高校教諭等)へのアプローチ強化 ③広報媒体の見直し及びデジタルメディアを活用した広報活動強化 ④入学試験制度の点検・見直し ⑤高大接続連携事業の強化・見直し
		(2)大学ブランディング強化	⑥大学ブランドの構築 ⑦発信情報の最適化及び広報活動による在学生・教職員のモチベーション向上 ⑧地域社会・就職先企業等の認知度向上 ⑨質の高い広報の展開及びメディアへの露出度の向上
7. 経営基盤強化	①経常収支差額比率 ②寄付金獲得金額 ③経常収入における人件費比率 ④補助金獲得金額 ⑤教員人事制度の整備 ⑥女性教員比率	(1)財務基盤強化	①中長期財務計画の運用・点検・見直し ②恒常的な寄付金の獲得 ③戦略的な補助金申請・採択強化 ④経費支出の適切な見直し ⑤人件費の最適化(多様な雇用形態の整備等)
		(2)組織・人事・制度の全体最適化	⑥リスクマネジメントの強化と安全・安心を担保する体制整備 ⑦IR(Institutional Research)及び自己点検・評価によるPDCAサイクルの確立 ⑧ガバナンス体制の強化 ⑨教職員の挑戦と成長を促す働き方改革(スマートワーク推進) ⑩教職員の活躍を支える人事制度の構築 ⑪教職員へのダイバーシティ促進 ⑫専任教員の学部別定数の策定・実施 ⑬教職協働事業を支えるSDの促進 ⑭事務組織及び各種委員会等の合理化・効率化 ⑮業務のデジタル化推進による生産性・合理性の向上 ⑯中長期計画の推進・検証及び連動する事業計画の策定・実施 ⑰学部改組、新学部・大学院設置等の将来構想策定
		(3)キャンパス等の活用整備	⑱キャンパスマスタープランの見直し・策定 ⑲学修環境・課外活動施設・情報環境の整備・充実

法人・大学の理念・目的

■建学の精神・教育理念

『自然を愛し　生命を尊び　真理を究める人間の形成』

本学の存在意義は「健康」な社会を形成するに足りる人材の養成に尽きる。健康は、人類が永遠に求め続ける理想像である。本学は、過去、現在、未来も「健康」を担う社会人を養成する大学として地域社会に存在を示して行かなければならない。健康社会実現のために地域に貢献するグローバル人材を育成する。

■大学の使命・目的

『健康社会の実現』

■教育理念を表すタグラインとコミュニケーションマーク

□タグライン

21世紀を生き抜くチカラ。

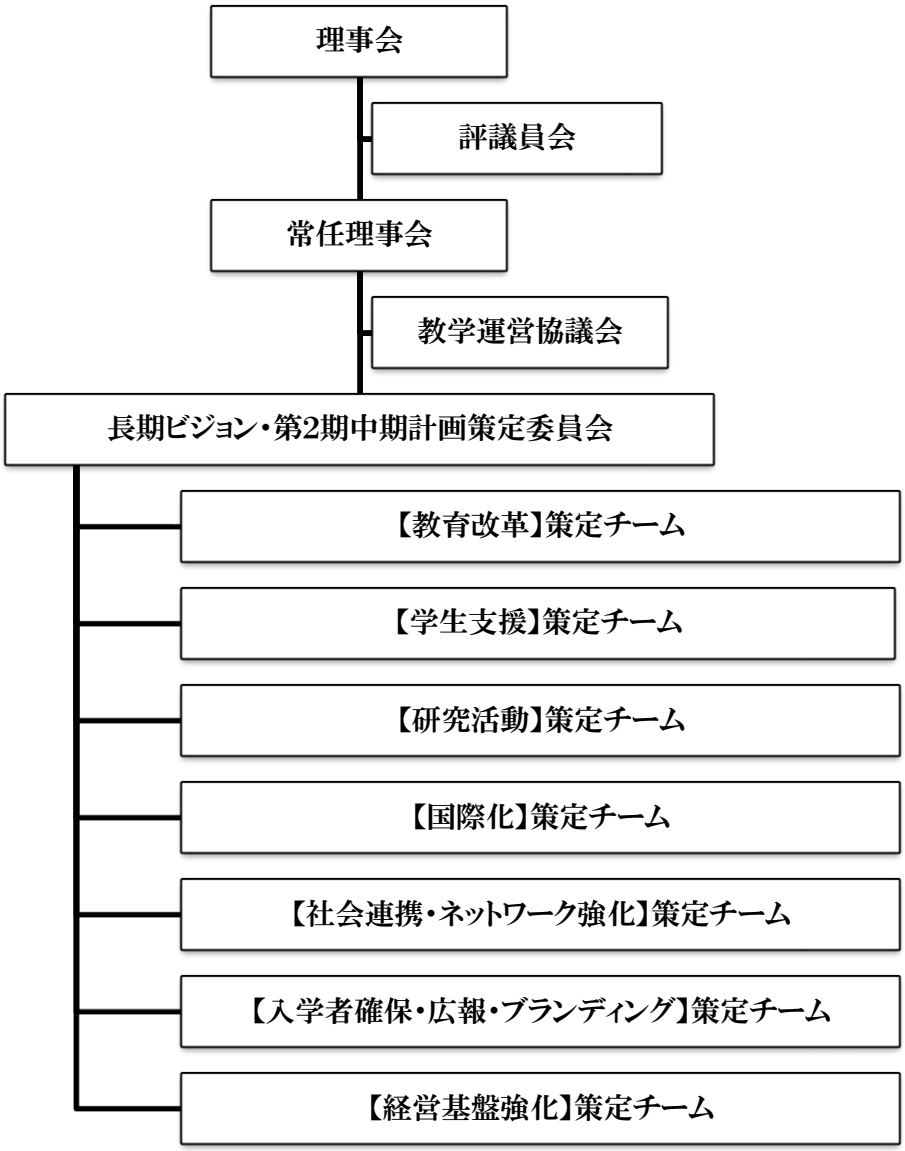
北陸大学が育み、学生の皆さんにもたらすもの。それは「自ら未来を切り拓く力」です。先の見えない時代を生きていく強さ、知識だけではない「総合的な人間力」を養成する教育の理念を明確に伝え、また印象づけることを最大の目的として、本学で身につける力がこの先の人生すべてに活かされるものであることを表現します。

□コミュニケーションマーク

北陸大学の頭文字「H」をモチーフに、「I（私）に力を＋（プラス）する教育」を表現しています。カラーリングは従来から本学のコーポレートカラーであった緑を基調として、より若々しく軽やかな印象のライトグリーンとしました。またプラスの部分は「輝き」を連想させるフォルムとし、学生が身につける力の象徴としています。

長期ビジョン・中期計画策定体制

実効性の高い計画を策定するため、策定委員会の委員長を理事長・学長、重点項目策定チームの責任者を理事とし、委員構成員は、多様な意見を取り入れるために、部局、職位、年齢、性別などのバランスを考慮して選出。



21世紀を生き抜くチカラ。
北陸大学

薬学部／薬学科
経済経営学部／マネジメント学科
国際コミュニケーション学部／国際コミュニケーション学科　心理社会学科（2021 年度新設）
医療保健学部／医療技術学科
留学生別科

【企画部】
〒920-1180　石川県金沢市太陽が丘1－1
TEL：(076)229-1161（代表）　FAX：(076)229-1348
http://www.hokuriku-u.ac.jp

発行　2021 年 3 月 30 日